

科目名	企業実習Ⅱ Internship II	科目コード	31550
-----	------------------------	-------	-------

学科名・学年	電子制御工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	梅田 幹雄（電子制御工学科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・2単位
開講時期・時間数	夏季休業中，60時間【内訳：講義，演習60，実験，その他】
教科書	
補助教材	「企業実習の手引き」学校配布資料
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

実践的な技術感覚を体得すること，技術者として必要な人間性の形成を図ることを目的として，企業における生産および技術の具体的な体験をする。

○関連する科目：電子制御ゼミナール（後期履修），卒業研究（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①企業の仕組みを理解する	30%	(f1)
②職場におけるものの見方・考え方を理解する	30%	(f2)
③作業の流れを体験する(具体的な内容は配属先の企業で異なる)	40%	(f1)

【C. 履修上の注意】

学校とは違った原理で動く社会のシステム体験ができます。そして，それらは諸君らの将来を考えるための，よりよい刺激になるものと思います。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（30%）【実習生が実習終了後に提出する実習報告書】
- 口頭発表（20%）【実習終了後に行う実習報告会におけるプレゼンテーション】
- その他（50%）【企業の実習責任者から提出される実習証明書】

【E. 授業計画・内容】

● 夏季休業中

回	内容	備考
1 ～ 29	<p>夏季休業中に企業で実習を行う。実習希望学生は実施責任者である学科長とクラス担任とに相談し、実習先を決定する。</p> <p>(1) 実習期間：夏季休業中 2 週間程度 (2) 実施経費：学生負担 (3) 損害保険：加入(学生負担) (4) 報告書：実習終了後速やかに所定の様式の報告書を作成し、実施責任者に提出する</p>	<p>詳細については、学校から配布される「企業実習の手引き」を参照すること。</p>
—		
30	実習報告会	